

日本学生支援機構奨学金 秋期募集 新規申込説明



大阪産業大学 学生課
奨学金係

【秋期募集の対象者】

- ① **新規**で奨学金の申込をしたい方
- ② すでに奨学金を受けているが、**追加で申込**をしたい方

※留学生の方は対象外です。「国際交流係」へお問合せください※

⑤ポータルシステムの通知設定

ぜひご利用ください！ 保護者ポータルサイト

大田区立大田高等学校では、保護者と学校に「子ども共育」と大田区が繋がるために『保護者ポータルサイト』を公開しています。『お知らせ』や『イベント』動向などの最新情報やご子息・貴校の活動時刻や成績表も随時、大田区の Web サイトからです。ぜひ、ご利用いただきまますごい思い出にしましょう。

主な機能

①お知らせ、個人情報
保護意識を高める保護者向け
最新の情報や動向を随時
随時更新いたします。

②活動時刻
ご子息が参加されている各種活動
の活動時刻やスケジュールを随時
更新いたします。

③成績表ダウンロード
ご子息が参加されている各種活動
の成績表やテストの成績表を随時
随時更新いたします。

④メール通知設定
大田区立大田高等学校の最新
情報やイベントの開催要項など
随時随時メールでお知らせします。



「イベント」一覧は「お知らせ」欄
更新されます。お知らせを
更新するだけで完了です。

「お知らせ」トップページを
クリック、右側メニューから
お知らせを選択してください。

「保護者ポータルサイト」の
大田区立大田高等学校の
ホームページからアクセス
してください。

ご利用の保護者の次々から、
こんなメッセージをいただきました。



「保護者」メニューをクリック
し、検索や検索結果を
表示してください。

「お知らせ」をクリックし、右側
メニューからお知らせを選択
してください。

保護者ポータルサイト
へのアクセス

大田区立大田高等学校ポータルサイト



奨学金申請方法と スケジュールについて

【申請書類提出期限】

①奨学金窓口へ
申請書類の提出

»» 2026年10月9日 17:00まで



②スカラネット入力

»» 2026年10月15日 24:00まで



③奨学金確認書兼地方税同意書
郵送

»» 2026年10月20日までに郵送

【①-1申請書類の提出:提出する書類】(学生⇒奨学金窓口)

全員提出

【奨学金申請書】

裏面も有

給付奨学金申請希望者のみ

【学修計画書】

全員提出		2026年秋期 奨学金申請書	
提出期限 : 10月9日(金) 17時まで			
フリガナ		担当:	
学籍番号	2	氏名	
学生携帯	保護者携帯(統制:) ※日中、お電話をかけることがあります		
【申請前確認】	確認欄		
1	ポータルシステム「Portal-OSU」の登録 (不備、採用連絡等はメールで届きます)		
2	奨学金係の電話番号を登録 ①072-875-3070 ②072-875-3069		
3	「給付を申請する方」後期授業料は期日(10月15日)迄にお振込みください。採用後に還付されます。		
【1】現在の奨学金状況、後期授業料の支払いについてお答えください			
①現在奨学金を持っていますか? ある場合は、種類を○で囲む な し ・ あ る ⇒ 給付(多子・理系含む) ・ 第一種(利子なし) ・ 第二種(利子あり)			
②後期授業料のお支払いについていずれかを選択。未払いは理由も選択してください。(○で囲む) 支払い済み ・ 未払い (10月15日迄に支払予定・延納繰繰出済み・12月15日迄に支払う(後、給付奨学金))			
【2】今回希望する奨学金に☑をつけ設問にお答えください			
☐ 給付奨学金 (理系学部減免・多子世帯減免は給付奨学金です) ・給付奨学金と第一種奨学金を同時に受ける場合、第一種奨学金が調整され貸与額0円もしくは減額されることがあります。(併給調整)			
☐ 貸与奨学金 (下表の希望コードにも☑をつけてください。) ・給付奨学金と第一種奨学金を同時に受ける場合、第一種奨学金が調整され貸与額0円もしくは減額されることがあります。(併給調整) ・貸与奨学金の「併用貸与」とは、第一種奨学金と第二種奨学金の併用を指します。			
上記【1】①で 現在、奨学金「なし」の方			
(a) (1) 第一種奨学金のみ希望します。 (2) 第一種奨学金を希望するが、不採用の場合、第二種奨学金を希望します。 (3) 第二種奨学金のみ希望します。 (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみ希望します			
(b) (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合、第一種奨学金のみ希望します。 (6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します (7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。			
上記【1】①で 現在、奨学金を「あり」の方			
(c) (8) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。 (9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します。 (10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 (11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。			
(12) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金への変更を希望します。 (13) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 併用貸与不採用の場合、第一種奨学金への変更を希望します。 (14) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 併用貸与不採用の場合、第一種奨学金への変更を希望します。			

学修計画書		☐ 給付奨学金 ☐ 第一種貸与奨学金
学籍番号	申込者 氏名	フリガナ
学部・学科・学年	学部	学科
1. 学修の目的(将来の展望を含む。) 現在在籍中の過程で学修の目的はどのようなものですか。次の①から③を参考にしつつ、その内容を記述して下さい。(200文字以上) (1) 将来に就きたい職業(業種)があり、その職業(業種)に就くための知識の修得や資格を取得するため。 (2) 興味のある学問分野や実践的領域があり、それらに関する知識を修得し、理解を深めるため。 (3) 将来、社会人として自立するための基礎的な能力を身に付けるため。		
※各項目 200文字以上 記述してください		
2. 学修の計画 前述の学修の目的の実現のために、今までに何をどのように学び、また、今後何をどのように学びたいと考えているのかを記述して下さい。(200文字以上)		
【第一種または併用希望で学業基準を満たさない場合】 ※父母ともに住民税所得割額が0円の世帯、生活保護受給世帯は給付奨学金の学業基準に基づき、緩和される可能性があるため、提出が必要です		

該当者は
「奨学金窓口」へお
問合せください

【①-2申請書類の提出:配付する書類】(奨学金窓口⇒学生)

【奨学金申請書(全員)】【学修計画書(対象者のみ)】を提出後、以下3点を配付します

【申込手順】

日本学生支援機構奨学金

＜ 申込手順 ＞

1. スカラネット入力下書き用紙を記入

準備するもの: ●「奨学金確認書兼地方税同意書」のセット (黄緑色の封筒)
●学生本人、生計維持者(父、母)のマイナンバーが分かるもの
(マイナンバーカード、通知カード、住民票等)

① P. 1~16 奨学金申請情報 記入注意

P.1 照会番号 ユー1 040 パスワ : s 6

P.2 「ログイン」の申込ID・パスワードは「奨学金確認書兼地方税同意書」に記載

P.5 学籍番号の前に「s」はつけない。 例: X s 28 B 000 O 28000

P.5 昼夜課程は「昼」です。 △昼間スクーリング(通修)ではありません

P.17 学修計画書 学生本人が100~200文字以内で記入

② P.18~20 マイナンバー情報 注意

個人番号・・・マイナンバーカード、通知カード、住民票等で確認できます
△個人番号が入力できない方は至急奨学金窓口へ連絡してください

2. スカラネット入力

入力期限: 10月15日(木) 24時まで

① 奨学金の新規申込・奨学金の提出
② ログイン(アカウント情報登録済) ③ 奨学金の提出
④ 奨学金の提出(アカウント情報登録済)

⑤ 奨学金の提出(アカウント情報登録済)

⑥ 奨学金の提出(アカウント情報登録済)

⑦ 奨学金の提出(アカウント情報登録済)

※「奨学金確認書兼地方税同意書」に記載されています
※申込ID、変更したパスワードは下書きへ記入

裏面に続く

【スカラネット入力下書き用紙】

下書き用紙に表示している内容は2026年1月現在のものであり、実際の入力画面とは異なる場合がありますー

2026年度
スカラネット入力下書き用紙(給付・貸与共通)
【大学等(大学・短期大学・高等専門学校・専門課程を置く専修学校)用】

この下書き用紙には給付奨学金及び貸与奨学金それぞれに関する設問があり、希望する奨学金の種類によって回答の必要な設問が異なります。
【給付奨学金案内】「貸与奨学金案内」も確認しながら、「スカラネット入力下書き用紙」に記入を行きましょう。
奨学金案内掲載箇所: https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/zaigaku/tebiki/daigaku_etc.html

スカラネットURL <https://www.sas.jasso.go.jp/>
受付時間 8:00~25:00 (最終締切日の受付時間は8:00~24:00)
※受付時間を過ぎると画面が強制終了します。余裕をもって入力を開始してください。スカラネット入力所要時間の目安は30分から1時間です。

「奨学金確認書兼地方税同意書」を郵送した日(インターネットによるマイナンバー提出等の手続き完了後、1週間以内)

月	日	時	分
10	15	24	00

スカラネット入力期限 インターネットによるマイナンバー提出等の手続き期限

申込ID:「奨学金確認書兼地方税同意書」に印刷されています

Z D 2 6

メールアドレス(初回ログイン時に登録したもの)

スカラネット入力完了の受付番号

スカラネット入力完了後に「送信」ボタンを押した後に、受付番号が画面に表示されます。

定期採用、家計支援採用で申し込みした場合は「2」、緊急採用、応急採用で申し込みした場合は「3」になります。

【スカラネット入力の際に、手元に用意する書類】

- 学校から受け取った識別番号(ユーザIDとパスワード)
- 「奨学金確認書兼地方税同意書」
- 奨学金申込書(本人名義)の情報がわかるもの
- 本人・生計維持者のマイナンバー及び住民票に記載された住所の分かるもの

【スカラネット入力内容記入欄】

識別番号の入力
あなたの識別番号(学校から交付されたユーザIDとパスワード)を入力してください。
[注]「パスワード」の入力は全角・英大・英小・数字の4文字を1文字として入力してください。

ユーザID	パスワード

↑スカラネット入力時は黒丸記号での表示になります。
エラーになる場合は、入力した文字を目で見て確認できるよう、最初にユーザID欄に入力し、それをコピーして貼り付けてみてください。

【奨学金確認書兼地方税同意書】

2026年度 ※大学(大学院は除く)・短期大学・専修学校専門課程の在学者用

「奨学金確認書兼地方税同意書」のセット

【内容】・「奨学金確認書兼地方税同意書」(郵送)
・「[重要] 奨学金確認書兼地方税同意書の提出方法」
・提出用封筒(黄緑色・長3サイズ)

在学する学校で奨学金の申込みを希望される方は、この封筒の中の書類を使用し、次の①→②→③の順番で手続きをしてください。

① スカラネット入力(インターネット)

- 同封の「奨学金確認書兼地方税同意書」に印刷されている「申込ID」と「初期パスワード」を使用し、スカラネットから奨学金を申し込んでください。
- 学校から交付される「識別番号(ユーザID・パスワード)」の入力も必要です。
- 奨学金の申込みが完了すると、「受付番号」が発行されます。

② マイナンバー提出等の手続き(インターネット)

- マイナンバー提出等の手続きは、必ず奨学金申込者本人が行ってください。
- 奨学金申込者本人と生計維持者の全員について手続きが必要です。
- マイナンバーを書類で提出(郵送)することはできません。

③ 「奨学金確認書兼地方税同意書」の提出(郵送)

- 同封の「[重要] 奨学金確認書兼地方税同意書の提出方法」をよく読んで奨学金申込者本人と生計維持者の全員が同意をし、奨学金申込者本人の身元確認書類を添付してください。
- 作成した書類は提出用封筒(黄緑色・長3サイズ)に入れ、郵便局の窓口から郵便物で郵送してください。

③の提出期限 ②のマイナンバー提出等の手続きが完了してから
※1週間以内※

独立行政法人
日本学生支援機構
JASSO
Japan Student Services Organisation

【②スカラネット入力】

★入力をはじめる前に

『スカラネット入力下書き用紙』を記入してください。

「間違いやすいポイント」を申請書提出時に渡す【申込手順】に記載しています。

必ず確認してください。

・入力期日を守り、スカラネット(WEB)からの入力を完了させてください。

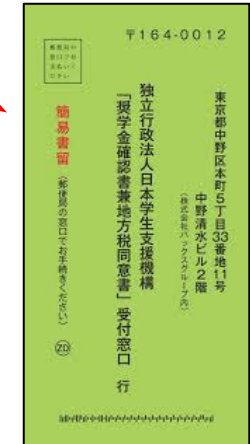
※奨学金申請の入力後、『マイナンバー』の入力までして完了です。



【③奨学金確認書兼地方税同意書郵送】

スカラネット入力完了後(1週間以内)に、日本学生支援機構へ郵送してください。

『専用封筒』を使って
『簡易書留』で郵送してください



よくある 不備内容

- ・父母いるが、「生計維持者」を一人しか記入していない
- ・同一筆跡は不備です
- ・生年月日の記入まちがい
- ・「本人確認書類」で添付した「マイナンバーカードの写し」の期限が切れていた

これ以外でも、機構が不備と判断した場合、審査がすすみません。
不備のないよう、よく確認してから郵送してください。



不備があった場合、機構から「郵送」「電話」「メール」いずれかで確認が入ります



【採否の結果の連絡方法と時期】

2026年12月初旬頃予定

採用であれば、初回振込:12月11日(金)

ポータルシステムより通知します

※必ず『本人』『保護者』とも「メール通知設定」をしておいてください

《注意点》

- ①奨学金は審査があるので、必ずしも採用されるわけではありません
- ②採用の場合、不備や審査状況によっては、初回振込が1月や2月になることがあります
- ③個別に審査の進捗はお答えできません

【ポータルシステムの通知設定】

奨学金に関する大切なお知らせは、『**すべて**』ポータルシステムよりお伝えします。

本日配布の『ポータルシステムの通知設定』を見ながら、**メールの通知設定**をしてください。

学生本人 保護者 同じ内容を配信します。**必ず両方**の設定をお願いします。

ポータルシステムについてのお問合せ

【学生】 本館5階 「情報科学センター」

【保護者】 「後援会」



 確認不足や連絡がとれないことで、『**採用取消**』や『**廃止**』などになっても、大学では一切責任は負いません

奨学金の概要

【秋期申込可能な奨学金】

給付奨学金
・原則返還する必要がありません ・授業料等減免とセットです

成績によっては
返還の可能性があります



貸与奨学金	
・卒業後に返還する必要があります	
第一種奨学金	第二種奨学金
・利子がかからない 給付奨学金と一緒に利用する場合、支援区分により、振込が0円になる	・利子がかかる 第一種の2倍の貸与額選択が可能。給付奨学金の影響は受けない

利子がかかるのは
卒業後からです

【授業料等減免とは？】

- ・マイナンバーの情報をもとに日本学生支援機構が支援区分を決定します
- ・決定した支援区分に応じた金額が「**授業料**」から差し引かれます

★配布資料の『募集要項』を確認し、ご自身が必要な奨学金を申込んでください★

給付奨学金

支援区分

給付奨学金の支援区分

世帯収入に応じて段階的に支援します。

・給付奨学金の対象か？
『進学資金シミュレーター』で確認できます
あくまで「目安」としてご利用ください



〈第Ⅰ区分〉

給付奨学金	満額支給
授業料等減免	満額支給

〈第Ⅱ区分〉

給付奨学金	2/3 支援
授業料等減免	2/3 支援

〈第Ⅲ区分〉

給付奨学金	1/3 支援
授業料等減免	1/3 支援

〈第Ⅳ区分〉

(多子世帯)	1/4 支援
(理工農系)	1/4 支援

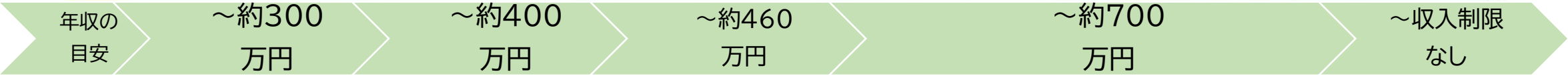
※給付奨学金は0円	文系との授業料の差額
-----------	------------

〈多子世帯〉

※給付奨学金は0円	満額支給 多子世帯
-----------	--------------

市区町村が決定した住民税情報等
に基づいて区分が決まります

月々振り込まれる
給付奨学金は0円



【給付奨学金：第Ⅳ区分(理工農)】

対象学部

情報デザイン学部

建築・環境デザイン学部

システム工学部

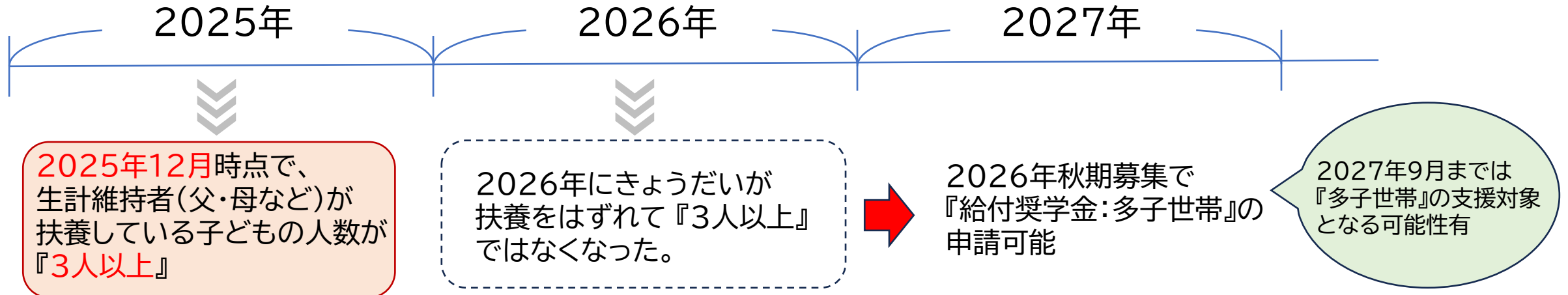
工学部

デザイン工学部

※授業料等減免のみで、月々の給付額はありません。

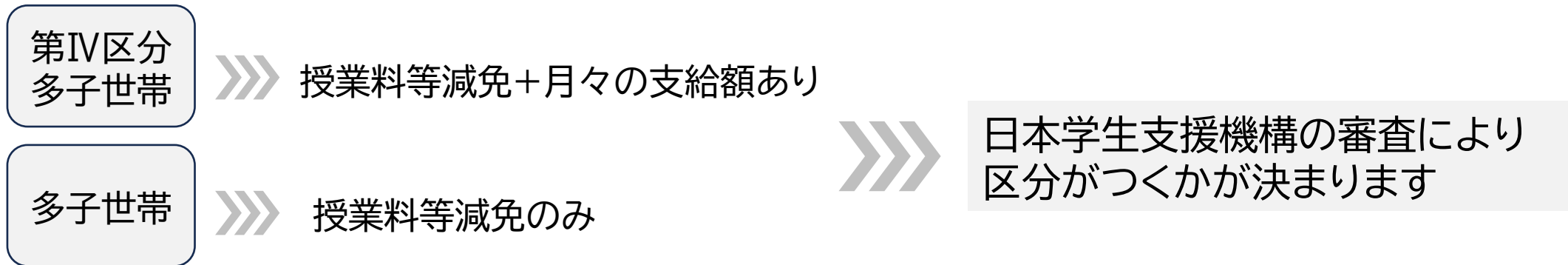
※転部等をした場合は対象外となります

【給付奨学金：多子世帯】



★学生と生計維持者の『マイナンバー』を通じて世帯で扶養している子どもの数の情報を機構が確認します

★『2026年秋期募集』においては、**2025年の情報**で審査されます



【給付奨学金：月々の給付額】

学校種別・世帯の 所得金額に基づく区分		私 立	
		自宅通学	自宅外通学
大学・短期大学・ 専修学校（専門課程）	第Ⅰ区分	38,300円 (42,500円)	75,800円
	第Ⅱ区分	25,600円 (28,400円)	50,600円
	第Ⅲ区分	12,800円 (14,200円)	25,300円
	第Ⅳ区分 (多子世帯に限る)	9,600円 (10,700円)	19,000円

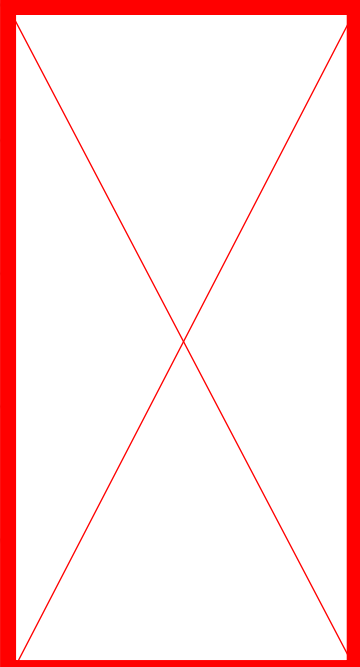
※支援区分は毎年10月に見直されます。

採用時に決まった支援区分が卒業まで同じとは限りません

（カッコ内は生活保護（扶助の種類を問いません）を受けている生計維持者と同居している方及び、社会的養護を必要とする人で児童養護施設等から通学し、「自宅通学」扱いの方）

【給付奨学金：授業料等減免額】

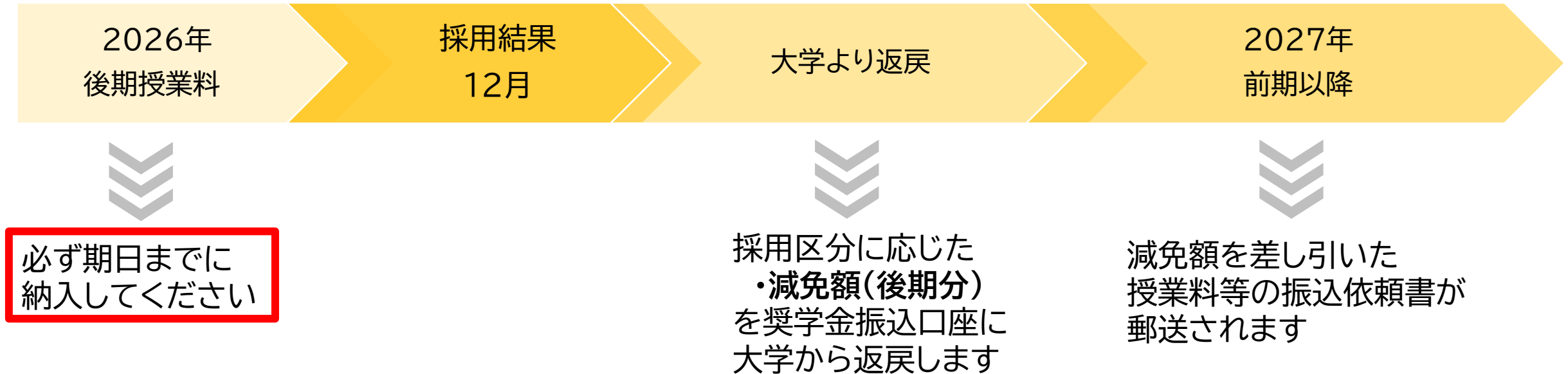
※入学金減免は「春採用」のみ
秋期募集では、入学金の減免はありません

学校種・世帯の所得金額に基づく区分			私 立	
			入学金	授業料
大学	第Ⅰ区分			700,000円 (360,000円)
	第Ⅱ区分			466,700円 (240,000円) >>> 第Ⅱ区分 多子
	第Ⅲ区分			233,400円 (120,000円) >>> 第Ⅲ区分 多子
	第Ⅳ区分	理工農系		233,400円 (120,000円)
	多子世帯			700,000円 (360,000円) <<<

★第Ⅱ区分・第Ⅲ区分の多子世帯の方は、「区分なし多子世帯」と同じ減免額となります

【給付奨学金：授業料等減免いつから？】(採用になった場合)

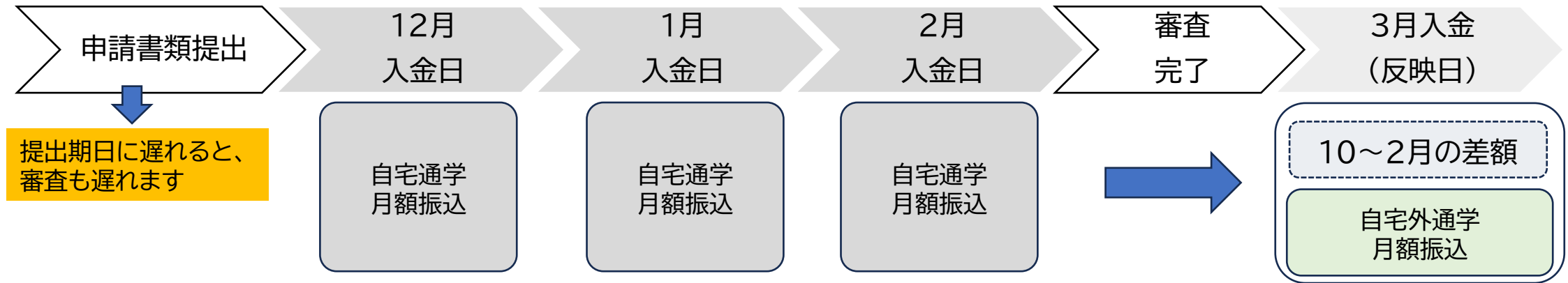
★採用決定と同時に『区分』が確定します



⚠ 2026年後期授業料は必ず期日までに納入してください ⚠

【給付奨学金：自宅外通学の方】(採用になった場合)

〔不備なく期日までに提出した場合の入金イメージ〕



- ・「自宅外通学申請届」と「賃貸借契約書のコピー」等の必要書類の提出が必要です
- ・日本学生支援機構の審査が完了するまでは、「自宅通学」の月額が振り込まれます
- ・審査が完了後、10月からさかのぼった「自宅通学」と「自宅外通学」の月額の差額がまとめて振り込まれます



提出期限が過ぎた場合や、入居日が2026年11月以降の場合は、
10月からさかのぼることができません

【給付奨学金：学業基準／1年生】

A

高等学校における
学習成績の状況(評定平均)
が**3.5以上**であること

B

高等学校卒業程度
認定試験の合格者で
あること

C

将来、社会で自立し、
活躍する目標をもって
学修する意欲を有してい
ることが学修計画書等
により確認できること

※A・B・Cのいずれかの要件を満たしていることが、出願資格です

※配布資料の『2026年度秋期在学採用 奨学生募集要項』を必ず確認してください

【給付奨学金：学業基準／2年生以上】

A

累積GPAが
上位1／2の範囲に
属すること

B

修得卒業要件単位数が標準単位数以上かつ、
将来、社会で自立し、活躍する目標をもって
学修する意欲を有していることが学修計画
書等により確認できること



【2年生】1年終了時31単位以上

【3年生】2年終了時62単位以上

【4年生】3年終了時93単位以上、かつ、卒業見込み有

※A・Bどちらかの要件を満たしていることが、出願資格です

※配布資料の『2026年度秋期在学採用 奨学生募集要項』を必ず確認してください

第一種奨学金

【貸与月額】

月々奨学金が振り込まれ、卒業後に返還が必要です(利子なし)

区分 月額 の種類	大学	
	私立	
	自宅	自宅外
最高月額	54,000円	64,000円
最高月額 以外の月額	40,000円	50,000円
	30,000円	40,000円
	20,000円	30,000円

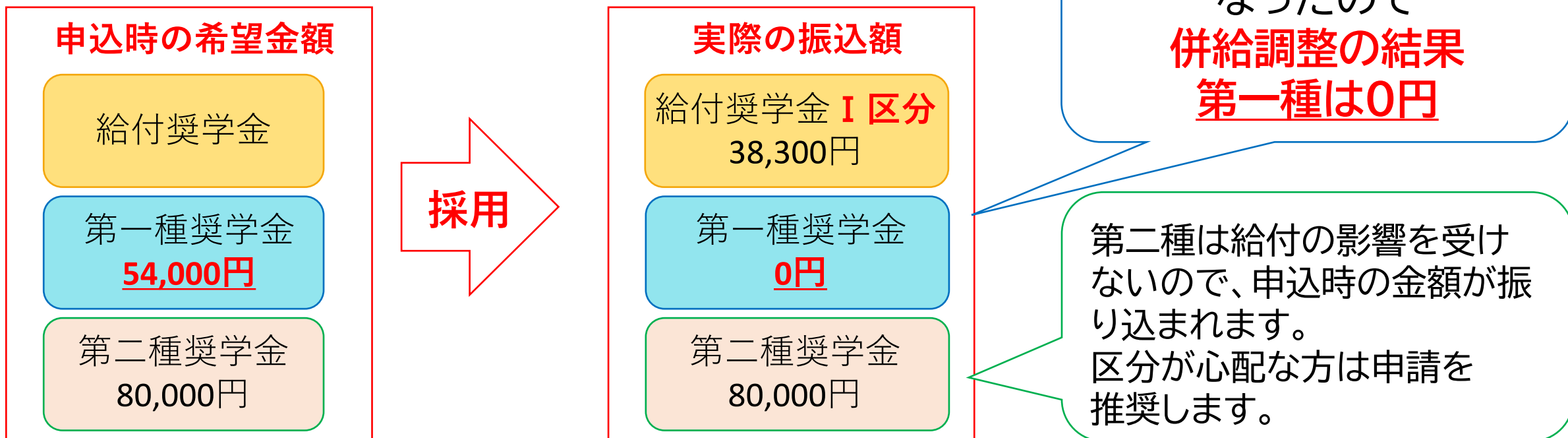
※最高月額は、併用貸与の家計基準に該当する場合のみ利用できます。

【併給調整】

『**給付奨学金**』と『**第一種奨学金**』を同時に受ける場合
給付の支援区分によって第一種奨学金の金額が決まります。

給付奨学金を受けている間は、自動的に一種の金額は調整されます

例)給付奨学金が第Ⅰ区分で採用された場合



【第一種奨学金(第二種奨学金との併用含む):学業基準】

算出方法は
「募集要項」で
確認してください

平均点80点以上

+

【1年生】前期終了時15単位以上

【2年生】前期終了時45単位以上

【3年生】前期終了時75単位以上

【4年生】前期終了時110単位以上

かつ、卒業見込み有

※父母ともに住民税所得割額が0円の世帯、生活保護受給世帯等は
給付奨学金の学業基準に基づき(提出物あり)、
緩和される可能性があります(該当者はお問い合わせください)

※配布資料の『2026年度秋期在学採用 奨学生募集要項』を必ず確認してください

【返還方式】

第一種奨学金を申込む方は、『返還方式(返していく方法)』を申込時に決める必要があります

【モデルケース(大学のみ)】返還方式による返還例の比較

前年度の収入に連動して返還額が変わる

所得連動返還方式

返す月額を毎年見直し

所得に応じた月額で返還

例 年収:300万円 → 月額:約 8,600円
年収:450万円 → 月額:約 15,400円

特長

所得があまり高くない時でも無理のない月額で返還できるので、将来のリスクに備えられます。

収入に関わらず毎月一定額を返還

定額返還方式

返還完了まで返す月額が同じ

借りた総額に応じた月額で返還

例 5万円を4年間(240万円)借りた場合
→月額:約 13,333円(15年間)

特長

最後まで同じ月額で返還するので、返還の計画がたてやすくなります。

※第二種奨学金の方は『定額返還方式』しか選べません

注意点

- ・『**所得連動返還方式**』は『**機関保証**』しか選べません
- ・採用後に変更希望の場合、変更できる期間や保証制度の変更が生じる場合があるので、早めに奨学金窓口までお問合せください

第二種奨学金

【貸与月額と利率の算定方法】

貸与月額

2万円～12万円までの間の1万円単位

で希望の金額を決めることができます

第二種奨学金は、『利率の算定方法』を申込時に決める必要があります

『利率の算定方法』とは
利率を計算する方法
のことです。

【利率固定方式】

貸与終了時に決定した利率が
返還完了まで適用されます

【利率見直し方式】

貸与終了時に決定した利率が
おおむね5年ごとに見直されます

★採用後、変更希望の方は、貸与終了までであれば変更可能です



【学業基準】

【1年生】前期終了時15単位以上

【2年生】前期終了時45単位以上

【3年生】前期終了時75単位以上

【4年生】前期終了時110単以上
かつ、卒業見込み有

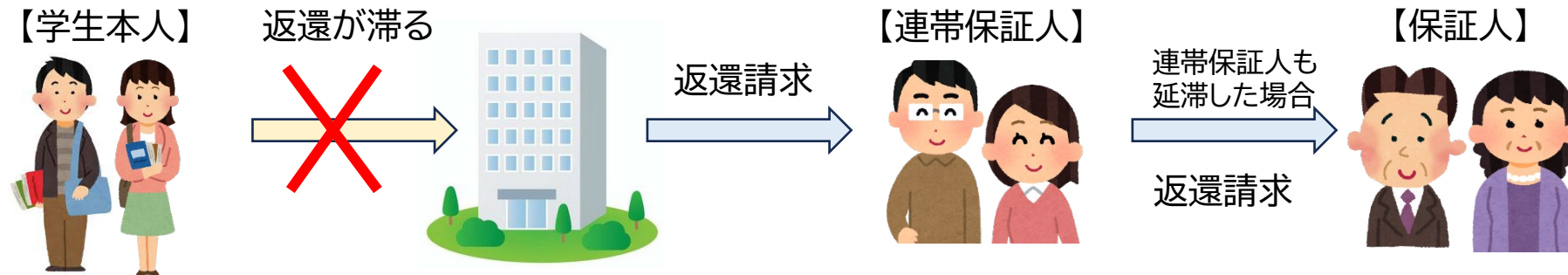
※配布資料の『2026年度秋期在学採用 奨学生募集要項』を必ず確認してください

保証制度

【人的保証とはどんな制度？】

奨学生が返還を延滞した場合に、**親(連帯保証人)**や**4親等内の親族(保証人)**が**代わりに返還義務**を負う制度です。

機関保証とは異なり、原則保証料は無料ですが、**返還が滞ると**親族に最大で全額の**返還責任**が及ぶ仕組みです。



※申込前に、「**連帯保証人**」「**保証人**」へしっかりと奨学金概要や必要書類(印鑑登録証明書など)について説明し**了承を得てから**申し込んでください。

※採用後に断られた、必要書類を準備できない等の理由で、手続きが間に合わない場合は**採用取消**となり、**全額一括返金**する必要があります

【人的保証 選出条件】

連帯保証人

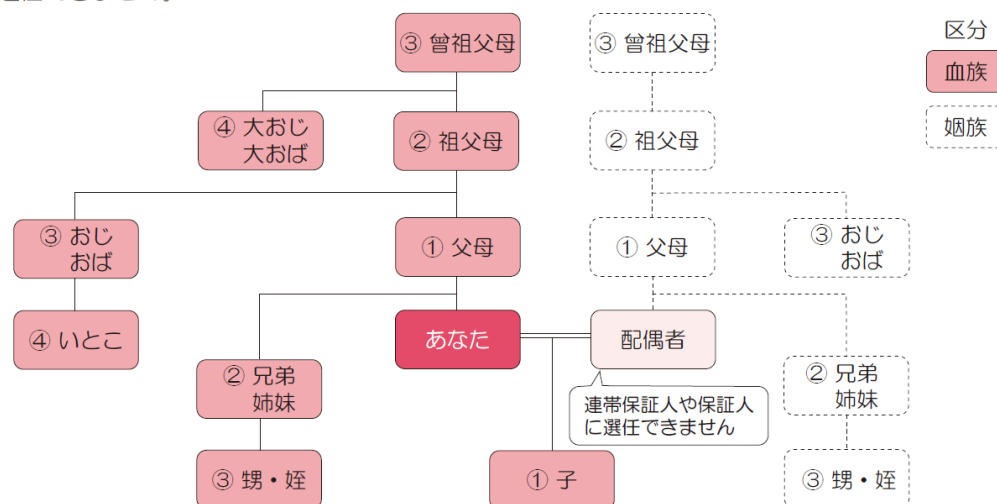
- ・ 原則父または母

保証人

- ・ 父または母以外
- ・ 別生計の4親等以内の親族

【4親等以内の主な親族】

4親等以内の親族とは、「4親等以内の血族、配偶者、3親等以内の姻族」のことをいいます。ただし、配偶者は連帯保証人や保証人に選任できません。

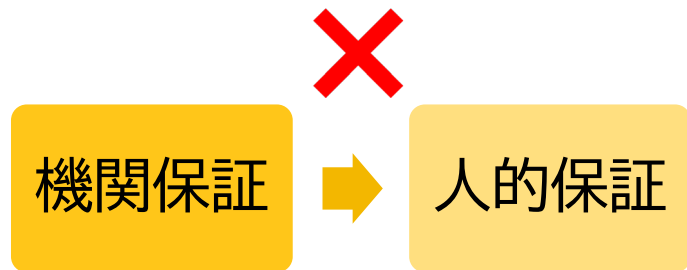


保証人の注意点

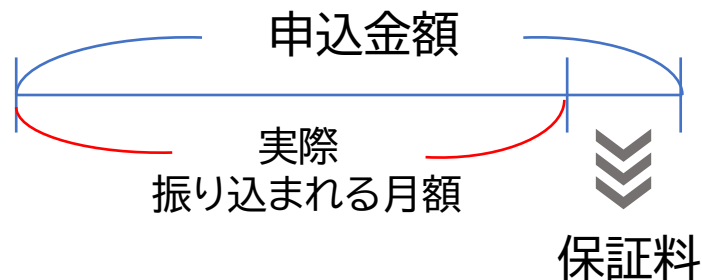
- ・離婚した父母を『保証人』に選ぶことは可能
※ただし、「4親等以外」となります
- ・「65歳以上の方」「4親等以外の方」を選ぶ場合は
特別な書類が必要です

【機関保証とはどんな制度？】

保証料を支払うことで保証機関が連帯保証人を代行する制度です。



『機関保証』から『人的保証』への変更はできません



月々の奨学金から保証料を支払うため、
振込まれる金額は申込金額より少なくなります

【家計基準についての確認方法】

進学資金シミュレーター

「生徒・学生の方向け」
「保護者の方向け」があります
「**保護者の方向け**」で確認してください

WEBから世帯の年収等を答えることで、
希望の奨学金を受けられるか詳細に知ることができます

- ・インターネットで「進学資金シミュレーター」と検索
- ・奨学金案内ダイジェスト



いずれかで確認できます

※「進学資金シミュレーター」はあくまでも目安です

※家計の審査は「日本学生支援機構」で行われるため、
詳細については、大学ではわかりません

お問合せ先

本館2階 学生課 奨学金窓口

【窓口時間】平日:9:00～17:00／土曜:9:00～12:30

【電話番号】072-875-3070(直通)／072-875-3069

メールアドレス:shogaku@cnt.osaka-sandai.ac.jp



- ★窓口対応優先のため、電話はつながりにくい可能性があります
- ★大学公式WEBサイトのお問合せフォーム等をご利用いただくなど、ご協力をお願いします
- ★窓口時間外の受付は一切行いません

さいごに

- ▶ 日本学生支援機構の奨学金は、勉学に励む意欲を持った学生に、給付・貸与されます。採用となったとしても、**成績次第では給付奨学金・貸与奨学金ともに停止・廃止・全額返還**になります
- ▶ 採用後にも、さまざまな手続きが必要です
手続きが遅れると停止・廃止の原因となります
- ・充実した大学生活を送るためにも、ご卒業まで単位の取得には十分に気を付けて、ポータルシステムのお知らせ等を必ず確認し、滞りなく手続きをすることを、心がけてください。